

平成20年度 直轄請負工事の事故発生状況

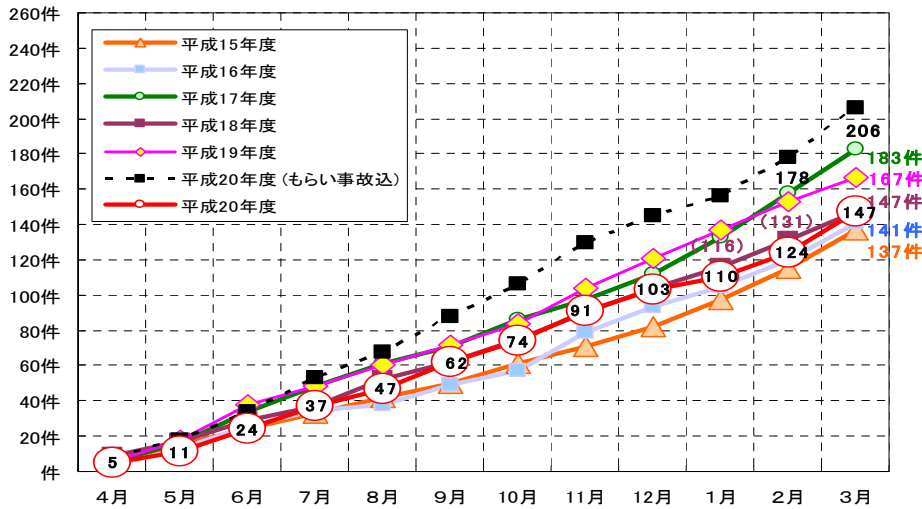


図-1 月別発生事故件数(累計) [4月末速報値]

◆平成20年度における発生事故件数は、図-1の月別発生事故件数(累計)のとおり、147件でした。

◆もらい事故を含めると、206件となっています。

◆前年度(平成19年度)の年間発生事故件数167件(もらい事故含まない)を下回る結果となりました。

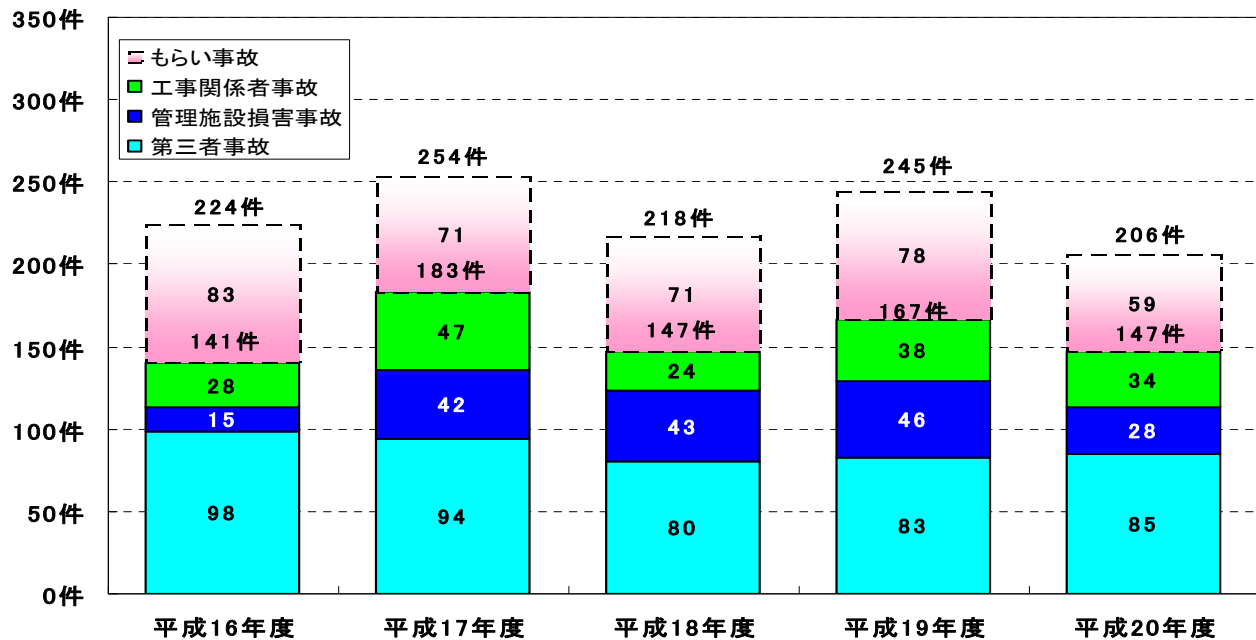


図-2 事故種類別

◆事故種類別(図-2)については、工事等が起因し工事関係者が被災した事故<工事関係者事故>、第三者及び管理施設に損害を与えた事故<第三者損害事故>及び<管理施設損害事故>、第三者が起因し工事関係者が損害を受けた<もらい事故>に区分しています。

◆<工事関係者事故>については、34件となっており、前年度(平成19年度)の38件から減少しています。

◆<第三者損害事故>と<管理施設損害事故>を併せた値が113件となり、昨年度の129件から減少しています。

◆<もらい事故>は59件発生し、全体の約3割を占めていますが、前年度(平成19年度)の78件から減少しています。ただし、平成20年度は<もらい事故>で死亡者3人となっています。

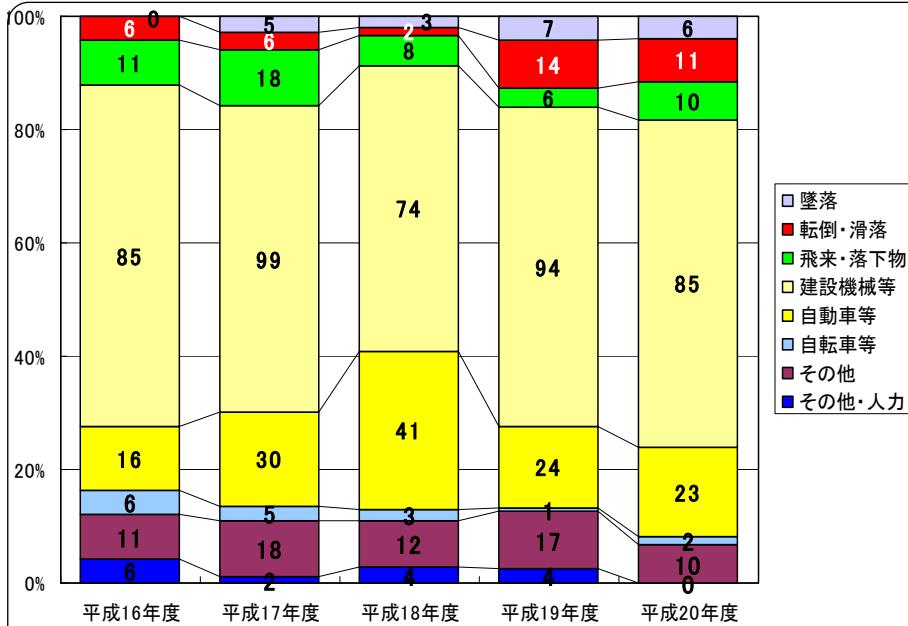


図-3 事故分類別

◆事故分類別（図-3）では、バックホウやクレーンなどの“建設機械等”が関係した事故の割合が毎年増加傾向を示しています。平成20年度については85件の事故が発生し、全体の約6割を占める結果となっています。

◆物損事故別（図-4）では、地下埋設物件損傷事故は2割程度となっています。架空物件等は約1割となっており、一般車両損害事故は平成16年度以降増加傾向にあり、平成20年は約3割となっています。

◆主な要因として、当事者の不注意が考えられますので、請負業者は、下記参考の自動車等の事故防止対策（案）を参考に、注意・指導して下さい。

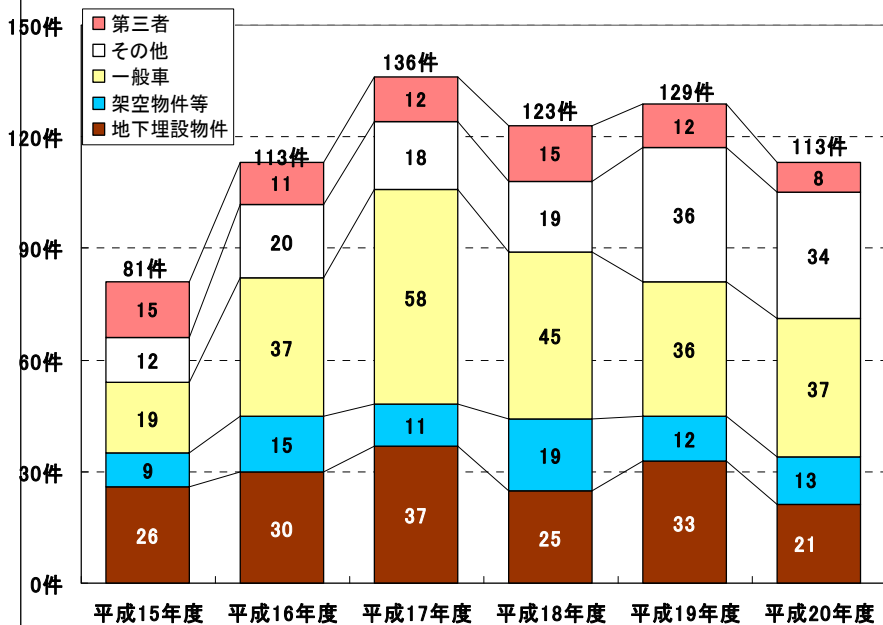


図-4 物損事故別

[自動車等の事故防止対策（案）]

- ◆ “だろ”運転、漫然や脇見運転等を防止するために、現道上の安全運転を遵守させること。
- ◆ 日頃の健康管理を徹底すること。
- ◆ 映像による危険・予知訓練等を徹底すること。

◆平成20年度に発生した事故(147件)により、45人が被災しています。その内、負傷者44人、死亡者1人となっています。(図-5 参照)

◆被災者数及び重傷者数は、前年度（平成19年度）までと比較すると増加しています。(図-5 参照)

◆平成21年度についても引き続き、請負業者には、下記の事故防止対策（案）を参考に、注意・指導して下さい。

[事故防止対策（案）]

- ◆ 指示事項の遵守
- ◆ 責任者監視の下での作業の徹底
- ◆ 安全パトロール・安全点検の徹底
- ◆ 危険・予知訓練等の徹底
- ◆ 作業員同士での注意喚起

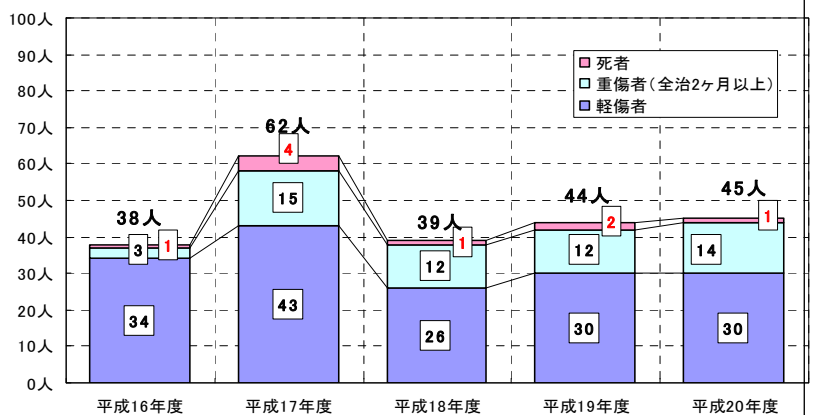


図-5 被災者数経年変化

事故の無い現場を目指そう!!